

竹でインフル撃退!

**高知市に來秋工場予定
タケックス・ラボ**

【大阪支社】竹を原料とした商品の研究販売を行うタケックス・ラボ（大阪府吹田市、清岡久幸社長）の衛生製剤「タケックスクリーン」に、鳥インフルエンザへの抗ウイルス作用があることが、鳥取大学付属の研究センターとの共同研究で分かった。実験では、効果は約30日間持続。同社によると、天然由来を主成分とする市販の消毒剤などに、これほど効果が持続するものはないという。

同社は2002年設立。

衛生製剤に抗ウイルス

鳥取大と共同研究で判明

竹の表皮や繊維を新素材とし、10月からは全国のドラッグストアでも販売されている。

消毒用アルコール製剤は

「1クリーン」はモウソウ 同大学で行った実験で抗ウイルス効果が高い。ウチクの表皮からの抽出物は、「1クリーン」1ミリリットルに、アルコールが数分で揮発する。これまでに食品や介護施設、インフルエンザウイルスを混合。2億3億個のウイルスは7個類、パソコンなどに噴霧しておけば効果が期待できるという、新型インフルエンザにも効果があるという。



「高知で竹のビジネスモデルをつくりたい」と話す清岡久幸社長（大阪府吹田市のタケックス・ラボ）

同社は来秋には高知市内で工場を稼働する予定。清岡社長は「インフルエンザにまで効果があったことは、20年間研究してきた成果としてうれしい。高知でビジネスモデルをつくり、全国に発信していきたい」と意気込んでいる。

（西村大典）